

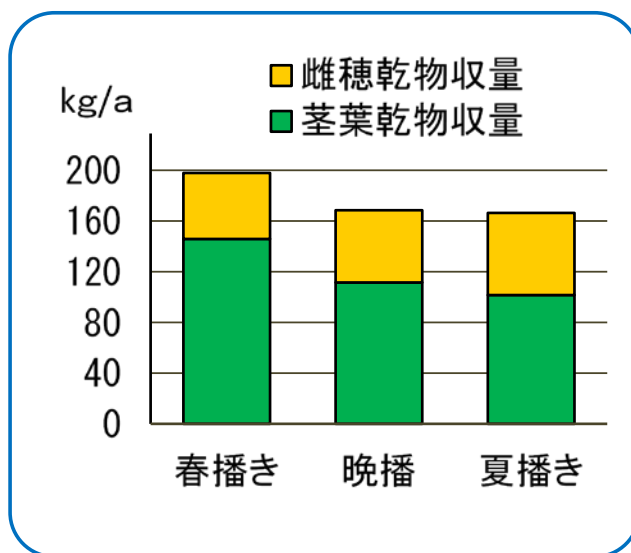
3. 畜産・飼料作関係の技術情報

晩播・夏播きにも適する飼料用トウモロコシ 「スノーデントおとは」

1. 平成28年熊本地震により、一部の被災農地では播種の遅れが想定されます。本資料にて紹介する「スノーデントおとは」は、播種が遅れた農地における代替作物として、有用な飼料用トウモロコシの特性を備えています。
2. 「スノーデントおとは」は春播き（4～5月播種8月収穫）のほか、晩播（6月播種9月収穫）、夏播き（7月下旬播種11月収穫）が可能です。
3. 「スノーデントおとは」はワラビー萎縮症が発生する心配がない7月下旬まで播種して栽培することができて多収です。
4. 「スノーデントおとは」は倒れたり折れたりしにくく、南方さび病にも強いいため、飼料としての栄養価が低下しません。



「スノーデントおとは」の草姿



「スノーデントおとは」の収量

参考文献

1) 村木 (2015) 九州の多様な栽培に適したサイレージ用トウモロコシ新品種：「九州沖縄で展開が期待される畜産業の新技术と開発方向」

http://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/karc/060665.html

問い合わせ先：農研機構 九州沖縄農業研究センター 096-242-7515